

関東アコーディオン演奏交流会

第30回

実行委員会ニュース

No.6

ホームページ <http://www.kanto-acco.jp>



QRコード

2018.12.13 発行

編集 広報部

第30回 関東アコーディオン演奏交流会ご参加のお礼

「第30回 関東アコーディオン演奏交流会」には多くの方のご参加いただきまして、ありがとうございました。

日頃の練習の成果が充分発揮できたでしょうか。

今年の参加は、一昨年の47団体より少なく、36団体でしたが、素晴らしい演奏を披露していただき、実行委員会一同開催できて良かったと思います。

審査員体制では、新しくかとうかなこさんが加わったことや、色々な分野で活躍されている安保亮さんを特別審査員に迎えたこともあり、より新鮮な評価や審査をしていただくことができました。

楽譜に、演奏曲に自信が持てる内容や、次回に生かせるコメントが細かく記載され、参考になったと各団体から寄せられていました。

今回も実施しましたシール投票では、聴いていただいたみなさんの印象・感想がどうだったかが伝わり、審査結果と両方の評価が出ていて楽しみが増しました。次回の運営・活動の参考にさせていただきます。

ゲスト演奏では、後藤ミホコさんの情熱的な演奏をされるアコーディオン演奏が繰り広げられ、私たちも大変元気をいただきました。

朝早くからの準備、進行、そして、後かたづけと長時間に亘りご協力をいただいた方々のお陰で成功する事が出来たと思います。ありがとうございました。

これからも皆様のご意見をいただきながら、次回開催に向けて努力していきたいと思っています。

来年は独奏部門での演奏交流会になりますが、引き続きのご支援・協力をお願い致します。

最後になりますが、みなさんのご健勝と益々のご活躍を祈念しております。

第30回 関東アコーディオン演奏交流会
実行委員長 塚本五郎



目次

■演奏交流会を終えて…1P ■審査結果・講評…2～3P

■入賞・入選者演奏の様子・ゲスト演奏・講評の様子…4～16P ■打ち上げの様子…17～20P

■映画とアコと音楽と⑤…21P ■ぶらり訪問記…22P ■ホワイトボード…23～26P

第30回関東アコーディオン演奏交流会
重奏・バンド／アンサンブル・合奏の部審査のまとめ

2018年9月24日(月・振休) 北区滝野川会館

《審査委員》

大田智美、かとうかなこ、川口裕志、佐藤芳明、柴崎和圭、松永勇次、(アイウエオ順敬称略)

特別審査委員:安保亮

重奏の部審査員長:松永勇次

バンド・アンサンブルの部審査委員長:大田智美

合奏の部審査委員長:柴崎和圭

ゲスト演奏:後藤ミホコ

重奏の部、12団体45名

バンド・アンサンブルの部、9団体27名

合奏の部、15団体163名

3部門の参加36団体、合計人数235名

今年の“関東アコーディオン演奏交流会”(以下、関東アコ)は、重奏／バンド・アンサンブル／合奏の三部門で開催されました。

第28回関東アコから新しく改名されたバンド・アンサンブル部門は今回で2回目になりますが、参加団体も増え、アコーディオンのみならず、他楽器との演奏という面でも、さらに新しい方向性が見えてきたことはとても嬉しいことです。

今回の審査員には、新しく、かとうかなこさん、佐藤芳明さんのお二人や、特別審査員に作編曲からプロデュース、ペットボトルオーケストラなど多方面で活躍されている安保亮さんをお呼びして、さらに充実した審査に繋がったのではないのでしょうか。

審査会議も、いつになく笑顔が多くみられ、とてもよい雰囲気の中で審査が進んだように感じられました。

ただ、今回パート編成や楽器編成の上で、出場する部門が違っていた団体があり、出場される方々／団体は、出場カテゴリーにエントリーする前にもう一度確認するようにしてください。

例えば1パートに2人以上の奏者がいる場合には、重奏の部ではなく合奏の部門になります。

また、重奏に出場されていた中で、本来ならば打楽器が入ったことによって、バンド・アンサンブル部門に当てはまるのでは…というグループもありました。より公正な審査へと繋げるためにも、指導にあたっている先生方からの助言などをもとに、参加されるカテゴリーを選ぶようにしてください。

また、合奏など大人数での演奏の場合は難しいかもしれませんが、重奏などの少人数の時などに、暗譜して弾くことにチャレンジされてみてはいかがでしょうか。暗譜することで、譜面台に縛られず、相手の動きを見たり聞いたりする事により集中して演奏できるので、ぜひ試してみてください。

今回参加された多くの方が、楽しそうに弾かれているのがとても印象的でした。

“音楽”は“音を楽しむ”と書きます。ぜひ仲間達との“音楽”をアコーディオンで楽しんでください。

柴崎和圭 / 審査事務局

〈 審査結果 〉

〈 重奏の部 〉.....

1 位 巡 ~ MeguRee ~ with のりゆみ

天使の死 作曲:アストル・ピアソラ

2 位 Quartet Miyo

弦楽四重奏曲第5番第3楽章 作曲:ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン

3 位 ウインドバスカーズ埼玉アコーディオングループ大宮教室

亡き王女のためのパヴァーヌ 作曲:モーリス・ラヴェル 編曲:松永勇次

奨励賞 金八さん

ギロックメドレー 作曲:ウィリアム・ギロック

〈 バンド・アンサンブルの部 〉.....

1 位 Die Makrele

チャルダッシュ 作曲:ヴィットーリオ・モンティ

2 位 アミーゴ

インヴェンション第1番 作曲:ヨハン・セバスティアン・バッハ 編曲:岩崎滋之

3 位 Acajóns

Acquarelli Cubani 作曲:ルチアーノ・ファンチェリ

3 位 プチ・マルカート

ニュー・シネマ・パラダイス 作曲:エンニオ・モリコーネ 編曲:プチ・マルカート

〈 合奏の部 〉.....

1 位 東京アコーディオン研究会

Last Emperor 作曲:坂本龍一 編曲:浜名政昭

2 位 川越アコーディオンサークルたんぼぼ

チャーリーたちのラブソディー 作曲:チャールズ・チャップリン 編曲:松永勇次、川口裕志

3 位 風のアンサンブル

ポップスアレンジによる「歓喜の歌」 作曲:ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン 編曲:川口裕志

入選 アンサンブル小川

コラソン・デ・オロ 作曲:フランシスコ・カナロ 編曲:井上正志

入選 ウインドバスカーズ埼玉アコーディオングループ

「四季」冬 第3楽章 作曲:アントニオ・ヴィヴァルディ 編曲:松永勇次

入選 ともしびアコーディオン合奏講座

アムール河の波 作曲:マクス・キュッス 編曲:大貫洋子

入選 ウインドバスカーズ川口

Sunrise Sunset 作曲:ジェリー・ボック 編曲:松永勇次

入選 音楽センター中部土曜教室

小さな喫茶店 作曲:フレッド・レイモンド 編曲:関英昭

入選 音楽センター三多摩教室

サウンド・オブ・ミュージック 作曲:リチャード・ロジャース 編曲:川口裕志

*****《入賞・入選者の紹介》*****

《重奏の部》(出場12団体)※入選無し

☆入賞第1位



団体名：巡～MeguRee～ with のりゆみ
曲目：La muerte del angel(天使の死)
作曲：Astor Piazzolla

☆入賞第2位



団体名：Quartet Miyo
曲目：弦楽四重奏曲第5番第3楽章
作曲：ベートーヴェン

☆入賞第3位



団体名：ウインドバスカーズ
埼玉アコーディオングループ
大宮教室
曲目：亡き王女のためのパヴァーヌ
作曲：Maurice Ravel
編曲：松永勇次

☆奨励賞



団体名：金八さん
曲目：ギロック メドレー(歩道のカフェテラス／公園で遊ぶ)
作曲：ギロック

《合奏の部》(出場15団体)※入選6団体

☆入賞第1位



団体名:東京アコーディオン研究会

曲目:Last Emperor 作曲:坂本龍一 編曲:浜名政昭

☆入賞第2位



団体名:川越アコーディオンサークルたんぽぽ

曲目:チャーリーたちのラプソディー 作曲:チャールズ・チャップリン 編曲:松永勇次、川口裕志

☆入賞第3位



団体名:風のアンサンブル

曲目:ポップスアレンジによる「歓喜の歌」 作曲:ベートーヴェン 編曲:川口裕志

☆入選



団体名:アンサンブル小川

曲目:コラソン・デ・オロ 作曲:フランシスコ・カナロ 編曲:井上正志

☆入選



団体名:ウインドバスカーズ埼玉アコーディオングループ

曲目:ヴィヴァルディ「四季」冬 第3楽章 作曲:VIVARDI 編曲:松永勇次

☆入選



団体名:ともしびアコーディオン合奏講座

曲目:アムール河の波 作曲:M. キュッス 編曲:大貫洋子

☆入選



団体名:ウインドバスカーズ川口

曲目: Sunrise Sunset 作曲: J・Boock 編曲: 松永勇次

☆入選



団体名:音楽センター中部土曜教室

曲目: 小さな喫茶店 作曲: F.レイモンド 編曲: 関 英昭

☆入選



団体名:音楽センター三多摩教室

曲目: ミュージカル[サウンド・オブ・ミュージック]よりサウンド・オブ・ミュージック

作曲: R・ロジャース 編曲: 川口裕志

《バンド/アンサンブルの部》(出場9団体)※第3位2団体、入選無し

☆入賞第1位



団体名:Die Makrele 曲目:チャルダッシュ
作曲:ヴィットーリオ・モンティ

☆入賞第2位



団体名:アミーゴ 曲目:インヴェンション第1番
作曲:J.S.バッハ 編曲:岩崎宏之

☆入賞第3位



団体名:AcajÔns
曲目: ACQUARELLI CUBANI
作曲:L.FANCELLI

☆入賞第3位



団体名:プチ・マルカート
曲目:ニュー・シネマ・パラダイス
作曲:エンニオ・モリコーネ 編曲:プチ・マルカート

《ゲスト演奏》 後藤ミホコ

♪ 演奏曲目 ♪

1. 黒い瞳
 2. ガンキノ・ホロ
 3. 千本桜
 4. フィンランディア～ふるさと
 5. バッハのトッカータ
- アンコール・・・白いカフェ(後藤ミホコオリジナル)



《審査の様子》



審査委員紹介 左から松永勇次 かとうかなこ 柴崎和圭 佐藤芳明 安保 亮(特別審査委員)
大田智美 川口裕志 (敬称略)

《結果発表と講評の様子》

■重奏の部 (審査委員長:松永勇次氏 講評:かとうかなこ氏)



今回初めて審査員という形で参加させていただきました。私自身もアコーディオンを4歳から始めていて、小さいころからコンクールに何度も出場する機会もありました。18 のときフランスに留学しましたが、でも毎回嫌でなんでコンクールに出なあかんねんっていうつも思いながら出ているんです。コンクールって聞いただけですごく緊張するので、きょうも審査員でお邪魔させていただいて、めっちゃ緊張して来たんです。

でも、みなさんの演奏を聴かせていただいているうちにすごく楽しくて、コンクールっていうイメージが変わりました。みなさん本当に音を楽しみながら演奏を

されていて、とても音を丁寧に丁寧に奏でられています。重奏はアコーディオンだけの演奏で、自身もアコーディオンの演奏活動をしていますけれども、アコーディオンっていう楽器はリズムを出すのがすごく難しい楽器だと思うんです。空気を使って音を出すので瞬発的な音というのはなかなか出にくい楽器ですし、割とふわっとした音のイメージになるので、重奏の皆さんアコーディオンだけで本当に苦労されたと思います。編曲、アレンジと試行錯誤されながら練習されたと思うのですが、本当に楽しませていただきました。

私自身もアコーディオン大好きで、みなさんが“アコーディオンが好き”という気持ちが今日はビンビン伝わって来ました。

◇重奏の部表彰の様子(賞状は、かとうかなこ審査委員より授与)



1位 巡 ~ MeguRee ~ with のりゆみ



2位 Quartet Miyoo



3位 ウィンドバスカーズ埼玉アコーディオングループ大宮教室



奨励賞
金八さん



■合奏の部(審査委員長:柴崎和圭氏 講評:川口裕志氏)



この30年間、関東のアコーディオン演奏交流会、コンクールですね、続いてきました。

合奏の部について言いますと、一昨年は19団体、今回は15団体です。ちょっと減りました。ただ、今回は大変熱戦でして、入賞者がなんと15の内9団体、3分の2近くというのは他の部門に比べても大変熱演された部門でした。そのうち5団体ぐらいはかなり点差が近くてどこがとってもおかしくない、多分この1年間相当頑張っただけじゃないかと思ひます。一昨年よりも濃くなっていると思ひます。

ジャンルも、クラシック、ヴィヴァルディの「四季」だとかタンゴだとかルンバもあれば、あるいは坂本龍一さんの曲だとか映画音楽だとかチャップリンの曲だとかすごくバラエティに富んでいました。それが特徴じゃないかと思ひます。

その中で、アコーディオン以外のいろんな楽器が使われるようになって、使い方について、例えばシンセサイザーだとか、ピアノにしろバスアコの電子化だとか電気ものが入ってきているのは最近の特徴だと思ひます。ですが音のバランスが難しくて、ややもすると強すぎちゃったり弱すぎたり、そういうことがあるので、広がっている反面効果的に使われるのはとても難いので合奏についてはこれからも研究されるといいのかなというのが感想でした。

◇合奏の部表彰の様子(賞状は、川口裕志審査委員より授与)



1位 東京アコーディオン研究会



2位 川越アコーディオン C たんぽぽ



3位 風のアンサンブル



入選 アンサンブル小川



入選 ウィンドバスカーズ埼玉アコ G



入選 ともしびアコーディオン合奏講座



入選 ウインドバスカーズ川口



入選 音楽センター中部土曜教室



入選 音楽センター三多摩教室

■バンド/アンサンブルの部(審査委員長:大田智美氏

講評:佐藤芳明氏)



全くもって新参者でございます。せっかくだから素人なりの感想を言わせていただきます。

バンド/アンサンブル部門というのがあって聞いて、わくわくして期待していたところが

すごくありました。どんな編成で演奏されるんだろうとか、どんな曲目を演奏されるんだろうとかかなり期待をしていたんですけど、意外と冒険する団体がなかったかなというのが正直な感想です。30年の歴史があるのでその辺はいろいろあるんでしょうけれども、いろんな挑戦とか冒険とかあってもいいんじゃないかなって感想です。

せっかくバンド/アンサンブルということでアコーディオンと出来るわけですよ。なにかもつといろいろできるんじゃないかなと勝手に思っていました。

それと見ていてすごく感じたのは、おそらく楽しんで演奏されているんだと思います。ただ、間違っちゃ

いけないとか正しく弾こうとかの気持ちの方がすごく伝わってくるんですね。何かそれってもったいないなって思いました。確かにコンクールだからいろいろ緊張があるんでしょうけれども、せっかく人前で弾くんだったら何かもつと気楽についていか楽しんでもいいんじゃないかなって思いました。

それと、これは余計なことかも知れませんが本当に素人意見です、見事にどの団体も譜面台がとっても高いんです。お客さんから見ていてほぼ楽器が隠れているんですね。場合によっては顔も隠れている。お客さんからすると隠れてもいいのかもしいけれど見事にどの団体もそうだったんです。誰も低くしていっちゃう方はいなくて、それが残念だったって思うのが1つ。人前で演奏するんだったら手元を見て欲しいって思ってもらいたいし、楽しんで欲しいなど、間違ってもいいじゃないですか、何かそういう気持ちとかそういうものももつと欲しかったなというのが新参者の感想です。

◇バンド/アンサンブルの部表彰の様子(賞状は、佐藤芳明審査委員より授与)



第1位 Die Makrele



第2位 アミーゴ



第3位
Acajóns



第3位
プチ・マルカート

■特別審査委員 安保 亮氏の講評・感想



昨年 JAA 国際コンクールでアンサンブルコンクールの審査をさせていただき、また声を掛けていただき、この会に来させていただきました。だいぶ見覚えのある皆さまにお会いできたという

感じです。

昨年アンサンブルコンクールで審査をさせていただいて以来この1年ずっとアコーディオンを聴いてきました。多分みなさんよりも聴いたんじゃないかっていうくらい聴かせていただいて、ますますはまっていくって言いますかアコーディオンの面白さが見つかってきて、非常にアコーディオンっていう楽器が聴くだけでもとても楽しいというイメージも強くなりました。譜面に書きたいことをパツパツと殴り書きしてしまったので多少失礼なことが書いてあるかもしれませんが、最初に謝っておきます。

僕は譜面台も気になっていたんですけども、譜面台は割とぱっと見て弾いてお金を稼ぐツールかな、そんな感じなんですけども、音楽と共になにかメッセ

ージを伝えていくそういうものだとしたら、ミントとかバンドとかやる人たちがたつたならば、出来れば譜面無し、または近くに置いてとかもってパフォーマンスというかそういうものがあってもいいと思いました。きょうは聴いていて30年の歴史があるこの会は何かわりと正攻法な印象でした。真面目な感じでやっていただいたので多分そういう流れなんだと思いました。ですので、審査の側からはちょっとあれは反則かなっていうところもあったんですけども、まあそういうのも自分から攻めるという感じではありませんでした。むしろ面白いねっていう感じで話しておりました。

審査は僕もこの人とこの人とどっちにしようかなっていうのは本当に0.1の差でっていうときもあったんですけども、逆に、先程佐藤さんもおっしゃったように、上手いとか下手とか間違えたとかっていうのはちょっと別なところにアコーディオンの面白さとか音楽の楽しさとかそういうものがあるかなと、で、そういうところでこういうところへ来ていただいても評価とかそれなりにあると思いますので、まあ、一番楽しんだ方が1等賞になるっていうのが素敵だなっていうふうに今日は思いました。

■バンド/アンサンブルの部審査委員長 大田智美氏の講評・感想



皆さま今日は1日長い時間お疲れさまでした。長い時間だったんですけど割とあっという間にいろいろ聴いて書いて時間が過ぎていきました。

全体を通しての印象というのは、毎年私多分この場で言っていることなんですけれども、段々レベルが上がってきているなっていうすごく嬉しい印象があります。

あともう1つ、今日聴いた中で自分が1番書き込

みをしていて、割とどの団体のところでも多く書くことなんですね、それは何かっていうと、譜面の中で私がマルを付けた1番多いところが休符なんです。休符を皆さん休まないでください。休みっていうものではなくて、休符っていうのはそこにすごく緊張感を感じる場所っていう意味があるんです。それから、その後に入ってくる、まあピアノ(p)だったりフォルテ(f)だったりいろいろな音がありますけれども、その音のために休ませるとかそういう大事な要素がありますので、それぞれの団体の中でそんなことを注意しながら練習していただけたらと思います。

■重奏の部審査委員長 松永勇次氏の講評・感想



私の個人的な感想ですが、今日聴いてまして、シンプルなメロディーをととても美しく弾くということがあちこちで見られました。それ、僕は点数としてはちょっと低いかもしれないけれども、メロディー

を美しく弾くっていうことはすごくアコーディオンにとっては大事なことだと思います。メロディーだけでも立派に音楽になる、そういうことを感じさせてもらいました。かなりの団体が必ずしも入選はしてないんですけどもそういうことを感じました。

それから僕の思い付きで、安保さんが言いましたけれども、実はJAAでやったのは譜面無しなんです

よ。これは僕の個人的な意見ですが、譜面無しでやるっていうのも考えてもいいかなと思ったりもしているんですけど、反対の意見もあるのでね、その部門があるのも面白いかなと前から思っていたんですけどもね、譜面無しということは譜面を見ませんよね、そういう強制的なやり方もある。

それからもう1つ、部門が分けてあるので、重奏の部で、審査要項からパートの独立性という事と、アコーディオンのみで他の楽器は使わないっていうことは、アコーディオンだけということになるので、2団体ぐらいはその辺でちょっと残念だという感じでした。

参加するカテゴリーについてもう一度徹底して皆さんと考えられるといいかなということが審査委員会で話されました。

■合奏の部審査委員長 柴崎和圭氏の講評・感想



先程大田さんが言われました。私も休符のところは注意して書き込みました。休符がリズムをつくる。音がずーっと続いていたらリズムは生まれない。

それからバンド/アンサンブル、これって不思議ですね。今回は、一昨年の前回よりはちょっと少なかった。前回新しく名前を変えたっていうことで、どんなものか出てやろうっていう人がいて、あれだったら私達も出てみようっていう人達がいて多めだったのかなと思いますけれども、再来年また増えてくれると面白いなと思って見ています。

佐藤さんの言われたように挑戦するっていうことはものすごく大事です。新しいっていうことは全部ぶっ壊すじゃなくて、まあ壊しても作ればいいんですけども、よりどんな可能性があるかなっていうことに目を向けるっていうことですので、これからの楽器なので、そういうことに挑戦していくにはいい部門なんだと思います。ですからぜひ挑戦してください。

それから、独奏のときはアコーディオンの持ち方を気になさる方が多くなりました。ただ合奏になると右手だけとか左手だけとかになることが多いせいなのかよと楽器の持ち方が“あれれ”っていう、横になった

りとか傾いちゃったりとか、演奏っていうのは持ち方とか見た目というのは大事なものでちょっと見直してあげるともっと弾きやすくなるし、ペローイングもすごく軽くなるかなと思います。

最後に、音楽っていうのは音を楽しむって書いてあるんです。もちろん一人でも楽しいですけども、やっぱりみんなでやるからこそ楽しいっていうことがある。食事だってそうです、おいしいものを一人で食べてもいいけども、やっぱり旨いものをみんなで食べてこそ旨い。合奏もみんなでやってこそああ楽しい、じゃあもつとこうやろうよって、何か今日わくわくしていませんか、今日聴いた演奏を見て「ちょっと私達もあれやりたいね」とかそういうふうにどんどん、合奏でも重奏でも見つけていって欲しいなと思いますし独奏は独奏で自分を磨きます。自分だけの勝負、これはこれですごく大事なんですね。で、これが来年あります。あんな曲を弾きたいこんな曲も弾きたいとあったと思います。是非皆さん誘って来年独奏部門でまたお会いできたらうれしいなと思います。

審査員の皆様今日は長い間審査をしていただきありがとうございました。それから皆さんもお疲れさまでした。審査員全員からも皆さんに素敵な音楽をありがとうございました。

良かった演奏に、感動した演奏に、シールを貼ってみましょう！コーナー



(独奏の部との隔年開催なので2年置きになる) 前回も好評だったので3回目となる今回もパネルにシールを貼る形で、「客席からの評価」を実施してみました。

一昨年同様5枚綴りのシールをプログラムにテープで貼って渡しました。

結果は写真の通りですが、見やすく数字にしてみました。貼られたシールの合計が522枚でした。(前回536枚) プログラム配布数(370)から単純に計算すると28%となります(前回29%)。今回も前回同様会場の約3分の1の方が参加したことになります。

重奏の部(プログラム順) ※8番出場辞退のため以降1つくり上がっています。

1.アコーディオンカルパッチョ・東部	7枚	7. 巡～MeguRee～ with のりゆみ	17枚
2.秋川アコーディオンサークル	3枚	8.ノンシマイ	6枚
3.とんぼシスターズ	16枚	9.五月の風	11枚
4. Quartet Miyo	15枚	10.金八さん	16枚
5.浜の風風音風音	10枚	11.葛飾アコーディオンサークル	6枚
6. ウィンドバスカーズ埼玉アコーディオン グループ大宮教室	5枚	12. 鶴川KRANE(有)	12枚

合奏の部(プログラム順)

1.風のアンサンブル	27枚	9.音楽センター中部土曜教室	32枚
2.ともしびアコーディオン合奏講座	13枚	10.川越アコーディオンサークルたんぼぼ	39枚
3.東京アコーディオン研究会	15枚	11.55アコーディオンサークル	3枚
4.音楽センター南部教室	6枚	12.ウィンドバスカーズ川口	10枚
5.音楽センター三多摩教室	33枚	13.音楽センター北部教室	2枚
6.音楽センター中部金曜教室	14枚	14.ウィンドバスカーズ埼玉アコ・グループ	15枚
7.音楽センター東部教室	8枚	15.アンサンブル小川	40枚
8.横浜アコーディオン愛好会	29枚		

バンド/アンサンブルの部(プログラム順)

1.a&a	6枚	6.金と銀	5枚
2.アミーゴ	11枚	7.プロメッサ総合研究所	4枚
3. Acajóns	10枚	8.プチ・マルカート	24枚
4. Die Makrele	22枚	9.いわし	25枚
5.スペアリブ カルテット アンド アコーディオン	5枚		

■団体紹介の様子(一部紹介)



とんぼシスターズ



Quartet Miyo



巡 ~ MeguRee ~ with のりゆみ



金八さん



鶴川KRANE(有)



音楽センター南部教室



風のアンサンブル



音楽センター金曜教室



横浜アコーディオン愛好会



音楽センター土曜教室



川越アコーディオン C たんぽぽ



55 アコーディオンサークル



ウインドバスカーズ川口



Die Makrele



アミーゴ



ブチ・マルカート



客席の様子(合奏の部)

司会・計時係 紹介



重奏の部司会
功刀さん



合奏の部・バンド/アンサンブルの部
司会:千葉さん



団体紹介・ゲスト紹介
平木さん



計時係(演奏時間を記録)
大岡さん、奥谷さん

受付・ロビーの様子



受付の様子



楽器修理コーナー



輸入楽譜展示販売(アンサンブル・ミュージック)



CD・教則本・楽譜展示販売(JAA・音楽センター)



受付開始前チラシ等差し込み作業の様子



滝野川会館入口の立て看板